

縄文人の感性に現代人はどこまで迫れるか

21世紀の

縄文人展

2017年 7月22日(土) ↓ 8月27日(日)

9時—17時 (入館は16時30分まで) 月曜休館

入場無料 ※常設展の観覧料は別途

北杜市考古資料館

山梨県北杜市大泉町谷戸2414

電話・0551・20・5505

今年も八ヶ岳南麓に
21世紀の縄文人たちが現れる

縄文文化が開いたここ八ヶ岳の麓。重厚かつ華やかな装飾の縄文土器。素朴な作りのお偶。洗練された機能美の石器。この地にいた縄文人の造形には驚かされます。現代、この地には多くの工芸作家が創作活動を行っています。かつての縄文人たちがこの大地から受けたさまざまなエネルギーを、現代の工芸作家たちも感じていることでしょう。八ヶ岳の縄文時代と現代を「ものづくり」を通じて結ぶ「21世紀の縄文人展」。縄文人の造形から感じたインスピレーションを、自身の作品に投影しています。

現代の工芸作家は、9年目を迎えた今夏も縄文人の感性に迫ります。

8月19日(土)

①ギャラリートーク 14時〜

入場無料

作家による解説に加えて学芸員が縄文的な考察で作品に迫ります。

②めぐるめく縄文幻想絵巻 15時30分〜

「土器から聴こえる縄文人の足音」

3人の作家共同制作の巨大絵巻のお披露目。不思議なものがたりの朗読と併せてお楽しみください。

入場無料

制作・太田二郎／小野理恵／吉野剛広

朗読・伊藤やよい

8月26日(土)

金生遺跡ライブ「原始の記憶Ⅴ」15時〜16時

入場無料

会場・金生遺跡(雨天の場合は北杜市考古資料館)

出演・八ヶ岳原始楽団(宇々地・谷山明人・多麻美・

アマラ和・小松嘉門・栗谷真吾・他)

